

未来につなぐ日本画展

出品作家(受賞年順)

鈴木周子 柳沢優子

檜垣智子 秋山洋平

沖谷晃司 田中翔子

安宅恵 鹿間麻衣

永吉秀司 前川祥子

只内寿則 森友紀恵

増田貴司 山田雄貴

松岡歩 杉木智美

長田佳子 大森正哉

石田育代 島田滋

松伯美術館 公募展大賞 受賞作家の 現在

2022年

2月11日 祝金

3月13日 日

【休館日】月曜日

【開館時間】10時～17時(入館は16時まで)

【入館料】大人410円

学生(高校生・大学生を含む)無料

※高校生・大学生の方は学生証をご提示ください。

【主催】公益財団法人松伯美術館

【後援】読売新聞社

松伯美術館

SHOUHAKU ART MUSEUM

未来を託す 豊かな感性

● 自然との共生の中で日本の風土、日本人の感性によって培われ、描き続けられてきた花鳥画。松伯美術館では開館時よりジャンルを花鳥画に限定した公募展「松伯美術館花鳥画展」を開催し、その世界が大切に未来へと受け継がれていくことを願って、これまで23回開催してまいりました。また2016年からは、ジャンルを問わない「松伯日本画展」も隔年で開催し3回展まで開催いたしました。ところが新型コロナ感染の収束が叶わず、諸事情もかさなって、残念ながら今年度も昨年に引き続き公募展開催は中止となってしまいました。そこで、作家の育成という公募展の歩みを振り返る機会として、大賞受賞作家の作品をご紹介します。それぞれ与えられた展示壁面に、今現在のご自身の仕事を自由に発表していただくようお願いいたしました。今後も松伯美術館は、今回のような現代日本画家の制作を応援し、作品をご紹介します展覧会を企画してまいります。本展が、環境や価値観の激しい変化の中で日本画の未来について問いかける貴重な機会となるよう願っています。豊かな感性で描かれた多彩な表現の作品一点一点を、是非、ごゆっくりご覧いただきますようご案内申し上げます。

【主な展示作品】



1



2



3



4



5



6



7



8



9



10



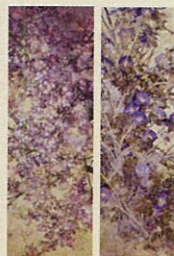
11



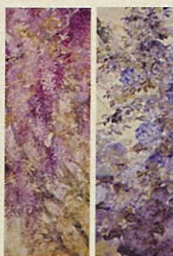
12



13



14



15



16



17



18



19



20



- | | | | | | |
|----------------------------------|-------------------------|----------------|-----------------|----------------|------------------|
| 1 鈴木周子《緑蔭》 | 2 檜垣智子《椿之図》 | 3 沖谷晃司《初夏》 | 4 安宅 恵《沈黙の泉》 | 5 永吉秀司《思春》 | 6 只内寿則《転生》 |
| 7 増田貴司《秋》 | 8 松岡 歩《牡》 | 9 長田佳子《まほう》 | 10 石田育代《秋麗》 | 11 柳沢優子《水簾》 | 12 秋山洋平《季節は穏やかに》 |
| 13 田中翔子《La glycine du soir〜宵の藤〜》 | 14 鹿間麻衣《紫季一枚・朝顔・藤・紫陽花一》 | 15 前川祥子《巡るいのち》 | 16 森 友紀恵《降りつもる》 | 17 山田雄貴《太古の痕跡》 | 18 杉木智美《水のほとり》 |
| 19 大森正哉《風雨雨沐》 | 20 島田 滋《願い》 | | | | |

会期中、特別展示室では松園・松篁・淳之の作品もご覧いただけます。

上村松園《雪》(1940頃)・上村松篁《軍鶏》(1930)・上村淳之《鶴》(2011)他、下絵、素描も展示します。

松伯美術館

SHOUHAKU ART MUSEUM

〒631-0004 奈良市登美ヶ丘2丁目1番4号
Tel.0742-41-6666



公式HP

松伯美術館 検索

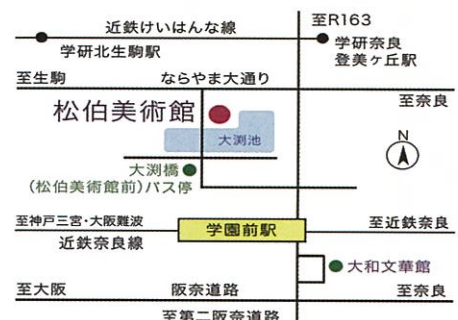
松伯美術館「友の会」会員募集中!

無料入館ほか様々な特典をご用意、皆さまのご入会をお待ちしております。

【交通のご案内】

近鉄奈良線「学園前駅」北口
バスターミナル ⑤⑥番のりばより、バスで約5分。
「大洲橋（松伯美術館前）」下車
大洲橋を渡った右側。

※駐車台数に限りがあるため
できるだけ電車・バスで
お越し下さい。



次回展覧会

ほ せ い ふ う
歩々清風

—日本画家 上村松園・松篁・淳之三代の歩み—

2022年 3月21日(月・祝)

▶ 6月12日(日)